

ALESIS



DM6 Kit DRUM MODULE ユーザーズ・マニュアル

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。



製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。



1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所をご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる



る恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください。)

17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告: 火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

ALESIS <お問い合わせ>

プロ・オーディオ・ジャパン株式会社

カスタマー・サポート部

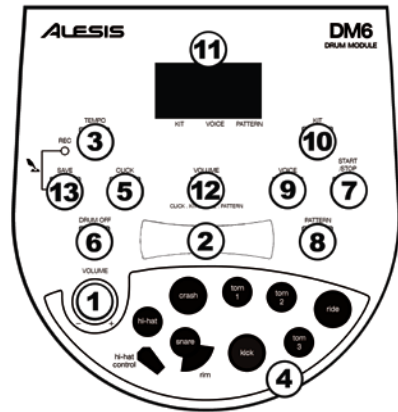
〒220-0022 神奈川県横浜市西区花咲町 7-150

ウエイズ&イッセイ横浜ビル 5F

TEL: 045(326)2046 FAX: 045(316)8665

フロント・パネル

1. **ボリューム** - DM6 音源モジュールのマスター・ボリューム
2. **バリュー +/-** - 各パラメーターの調整
3. **テンポ** - テンポの調整
4. **パッド・インジケーター** - 叩いたパッドを表示
5. **クリック** - メトロノームのオン/オフ切替
6. **ドラム・オフ** - パターン・プレイのドラムのオン/オフ
7. **スタート / ストップ** - パターンのスタート/ストップ
8. **パターン** - パターン・モードと MIDI アウトのフォーマット時の選択
9. **ボイス** - ボイス・セレクト・モード
10. **キット** - キット・セレクト・モード
11. **ディスプレイ** - キット、ボイス、パターンなどのパラメーターを表示
12. **ボリューム** - ボリュームを調整
13. **セーブ/ REC** - 1 回押した時は11～15 のユーザー・キットへのセーブ。長押しするとレコード・モードに移動



リア・パネル

1. **電源コネクター** - 電源アダプター(同梱)を接続。
2. **電源スイッチ** - 電源のオン/オフ
3. **ヘッドフォン** - 1/8" ステレオ・ジャックのヘッドフォンを接続可能
4. **ステレオ・出力** - 1/8" ステレオ・ジャックからアンプやスピーカーに出力可能
5. **ミックス・インプット** - CD プレーヤーや、オーディオプレーヤーなどを 1/8" ステレオ・ジャックで入力可能
6. **USB ポート** - コンピューターもしくは他の USB デバイスと USB ポートを接続可能。
7. **キック・タイプ・スイッチ** - キック・ペダルの種類によって DM6 音源の後ろにあるキック・タイプ・スイッチを切替ます。通常のキック・ペダルは「PAD」を、スイッチ・ペダルは「SWITCH」を選択します。
8. **トリガー入力コネクター** - マルチ・ケーブル(同梱品)を接続し、片側のケーブルは各パッド、ペダルなどに接続(詳細は別紙の DM6 音源接続図を参照)



重要: キック・ペダルの種類によって DM6 音源の後ろにあるキック・タイプ・スイッチを切替ます。

通常のキック・ペダルは「PAD」を、
スイッチ・ペダルは「SWITCH」を選択します。

MIDI / USB

DM6 モジュールは音源を内蔵しています。しかし、コンピューターの USB ポートを接続することにより、ドラム・モジュール・ソフトウェアとトリガーとの MIDI へのインターフェースとしても使用できます。この場合、パッドを叩いた信号はコンピューターへ MIDI で送ります。その信号をソフトウェアのライブラリーから発音します。このように DM6 モジュールを使用するために適切な MIDI 出力フォーマットを選択する必要があります(以下を参照)。

MIDI アウトプット・フォーマット

DM6 モジュールは、2 つの異なるフォーマットで MIDI 情報を送ることができます。内部フォーマット(デフォルト)は GM フォーマットです。

インターナル・フォーマットは音源としてモジュールに使用されます。「プログラム・チェンジ」および「ノート・オン/オフ」メッセージは、このモードで送信されます。インターナル・フォーマットはデフォルト・モードになっています。

DM6 モジュールがコンピューターに接続されている場合、GM フォーマットが使用されます。このフォーマットでは、お好みのドラム・モジュール・ソフトウェアからの音をトリガーし、MIDI インターフェースとして DM6 を使用できます。「ノート・オン/オフ」メッセージのみ、このモードで送信されます(パターンに伴うメロノームやサウンドは送りません)。

MIDI アウトプット・フォーマットの選択方法

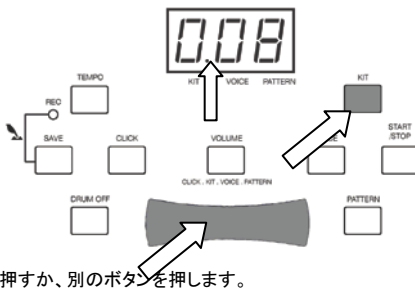
1. パターン (PATTERN) を押してパターン・セレクト・モードに入ります。
2. バリュー +/- ボタン (VALUE +/-) で "P-N" (インターナル・フォーマット、デフォルト)、“-N” (GM フォーマット) を選択できます。

キット

キットの選択方法

DM6 モジュールは 10 種類のプリセット・キット(001 - 010)と 5 種類のユーザー・キット(011 - 015)から選択できます。

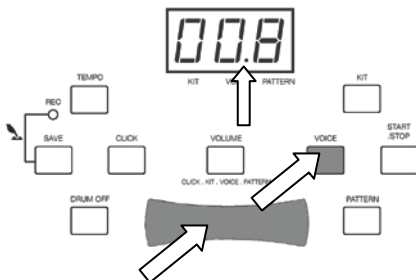
1. キット・ボタンを押してキット・セレクト・モードに入ります。現在のキットの番号はディスプレイに表示されます。
2. バリュー +/- ボタンでキットを選択します。
3. キットのボリューム(マスター・ボリューム・レベルとは異なる)を調節するには、ボリューム (VOLUME) を押します。パッドを叩くとボリュームが表示されますのでお好みで調節します。終了するときはキット・ボタンを押すか、別のボタンを押します。



音色の選択方法

DM6 モジュールは 106 種類の音色を内蔵しています。

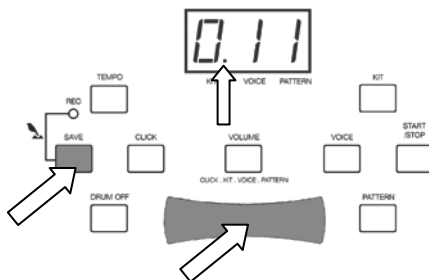
1. ボイス・ボタンを押してボイス・セレクト・モードに入ります。ディスプレイにボイス・ナンバーが表示されます。
2. バリュー +/- ボタンで音色を選択します。
3. トリガーのボリューム(マスター・ボリューム・レベルとは異なる)を調節するには、ボリューム (VOLUME) を押します。パッドを叩くとボリュームが表示されますのでお好みで調節します。終了するときはキット・ボタンを押すか、別のボタンを押します。



キットのセーブ方法

11～15 のキット・ナンバーにセーブ可能です。1～10 のキットには上書きセーブはできません。

1. セーブ・ボタンを押してセーブ・モードに入ります。ディスプレイにセーブ先のキット・ナンバーが表示され点滅します。
2. バリュー +/- ボタンで好みのセーブ・ナンバー11～15 のキット・ナンバーを選択します。
3. セーブ先のキット・ナンバーを選択したらセーブ・ボタンを押してセーブします。(セーブされる内容は全てのトリガー・ボイスとボリューム・レベルになります)



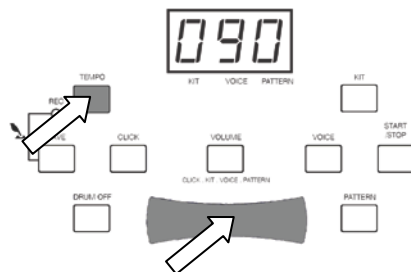
メトロノーム

DM6 モジュールはメトロノームを内蔵しています。メトロノームはテンポ、拍子、ボリューム、メトロノーム自体の音色の変更が可能です。

テンポの調整

テンポの調整は下記のように設定します。

1. テンポ・ボタンを押してテンポ・モードに入ります。ディスプレイは現在のテンポを表示します。
2. バリュー +/- ボタンで好みのテンポに調整します。(テンポは 30 - 280 BPM 内で調整できます)尚、バリュー +/- ボタン両方を同時に押すと初期設定のテンポに戻ります。

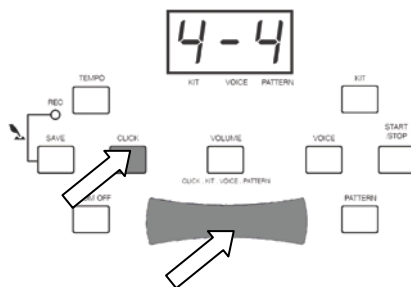


拍子の調整

拍子の調整は下記のように設定します。

1. クリック・ボタンを押してクリック・モードに入ります。ディスプレイは現在の拍子を表示します。1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、3/8、6/8 の 9 種類から選択できます。
2. バリュー +/- ボタンで好みのクリックに調整します。

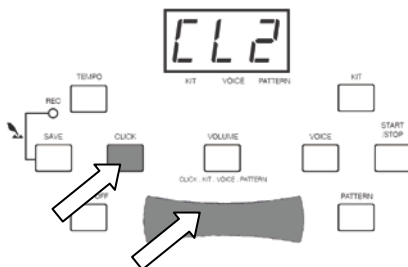
パターンのプレイ・ストップ時、共にクリック・ボタンを押しているとクリックはプレイされます。



メトロノームの音色の選択

メトロノームの音色の調整は下記のように設定します。

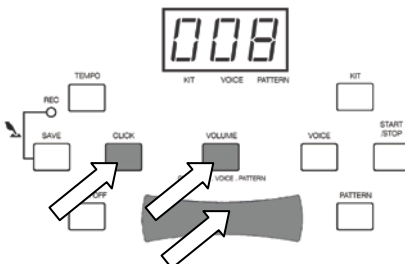
1. クリック・ボタンを押しながらバリュー +/- ボタンを押します。メトロノームの音色は“CL1,” “CL2,” “CL3,” “CL4”の 4 種類を内蔵しています。
2. +/- ボタンを押して、好みの音色に調整します。



メトロノームの音量調整

メトロノームの音量調整は下記のように設定します。

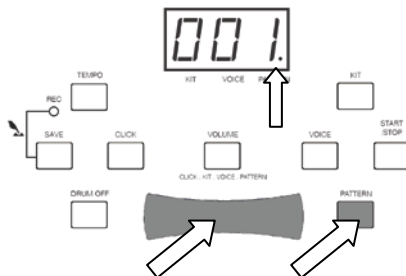
1. クリック・ボタンを押してクリック・モードに入ります。
2. ボリューム・ボタンを押し、ボリューム・レベルを表示させます。
3. +/-ボタンを押して、お好みのボリュームに調整します。
調整が終了したら、クリック・ボタンを押します。



パターン

DM6 モジュールはプリセット・パターン 40 種類と 1 つのユーザー・パターンを内蔵しています。パターンは下記のように設定します。

1. パターン・ボタンを押してパターン・モードに入ります。ディスプレイは現在選択しているパターン・ナンバーを表示します。
2. +/-ボタンを押して、お好みのパターンを選択します。
(パターン「41」は音色、パターンは入ってません。“N-P”と表示されます。)
3. キット・モードにてパターンを再生時にはクリック・ボタンは点滅し、発音しているパッド・インジケータも点滅します。(これらは練習に効果的です)
4. パターンのボリューム調整(マスター・ボリューム・レベルとは異なる)は、パターン・ボタンを押してパターン・モードに入りボリューム・ボタンを押します。現在のボリュームを表示しますので、お好みのボリュームに調整します(0~16 レベルで設定可能)。
5. パターンのテンポ調整はパターン・ボタンを押してパターン・モードに入り、テンポ・ボタンを押します。現在のテンポを表示しますので、お好みのテンポに調整します(30~280 レベルで設定可能)。
6. 終了時には再びパターン・モードに入るか、他のボタンを押してください。



パターンと MIDI IN(USB)は 16 の MIDI チャンネルを使用します。これらはパターンの再生に影響するかもしれません。動作に問題が生じる場合は、電源を入れ直してください。

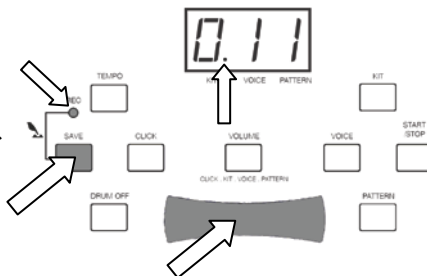
録音待機モード時はパターンのボリュームを表示しますが変更はできません。

レコーディング

レコーディング・待機モード

セーブ/ REC・ボタンを数秒押し続けて、録音可能なユーザー・パターンを表示します。ディスプレイはキット・ナンバーを表示、REC インジケータは点滅します。

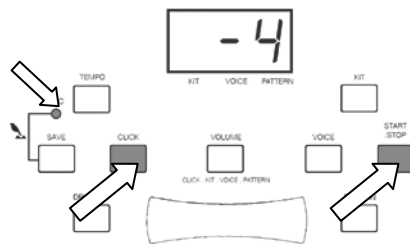
このモードでは、パターンのテンポ、キット・ナンバーを調整できます。また、ドラム・パートをミュート可能(DRUM OFF)、メトロノームもミュート可能です。しかし、音色と拍子を変更できません。



レコーディング・モード

ユーザー・パターン・ナンバー「41」へ録音するには下記のように設定します。

1. セーブ/ REC・ボタンを数秒押し続けて、録音可能なユーザー・パターン「41」を表示します。
2. パッドを叩くか、スタート / ストップ・ボタンを押すと、カウント・ダウンが始まります。
3. プレイを録音します。ディスプレイには小節数を表示します。
4. 終了時にはスタート / ストップ・ボタンを押します。
(録音できる容量は約 5,000 ノート分もしくはディスプレイに「FUL」と表示されるまで録音可能です)。

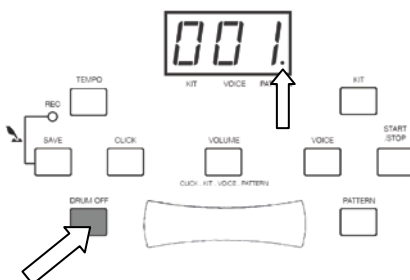


録音をすると以前に録音したプレイは消去されます。

録音の前に、録音中にメトロノームの入切を選択します。どちらの場合もメトロノームの音は録音されません。

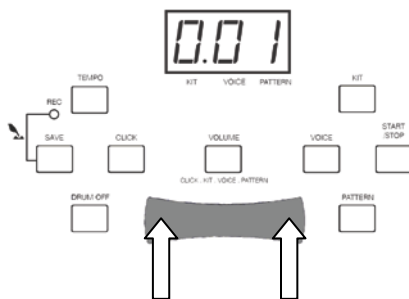
ドラム・オフ

「DRUM OFF」ボタンを押すことによりパターン内のドラム音色のみをミュート(消音)できます。この機能は練習時に役立つ機能です。「DRUM OFF」を戻す場合はもう一度「DRUM OFF」ボタンを押します。



ファクトリー・リセット(工場出荷時にリセット)

工場出荷時にリセットするには、電源を切った状態で+/-ボタンを押しながら電源を入れます。リセットをすると全て、ご購入時のデータに戻ります。



DM6 製品仕様

トリガー:	1 キック・パッド, 1 ハイハット・ペダル, 1 ハイハット・シンバル, 1 クラッシュ・シンバル, 1 ライド・シンバル, 1 デュアル・ゾーン・スネア・パッド, 3 タム・パッド
ボイス:	108 ボイス
ドラム・キット:	10 プリセット・キット, 5 ユーザー・キット
パターン:	40 プリセット・パターン, 1 ユーザー・パターン
ディスプレイ:	LCD ディスプレイ
接続部:	ヘッドフォン, USB, ステレオ出力, Mix 入力, 電源コネクター, マルチ・トリガー入力・ケーブル(25-pin D-sub to 8 TS 1/4" もしくは 1 TRS 1/4" ケーブル)
電源アダプター:	AC アダプター (9V)

www.alesis.jp